

門真市駅周辺エリアプラットフォーム組成勉強会

テーマ「エリアの将来ビジョン」

これまでエリアの関係者様と企業団体様と共に門真市駅周辺のエリア価値向上を目的に門真市駅周辺エリアリノベーション社会実験を令和2年度から開催し、門真市内外の多くの方にエリアの可能性や門真市のものづくりについて知っていただき、意見交換することができました。

これから、エリアの関係者様や企業団体様と共に門真市のまちづくりやものづくりについて議論し、門真市駅を中心としたエリアの将来ビジョンをつくっていくための勉強会を開催いたします。

専門家の講義と共に関係者が集まり議論し、エリア価値向上の方法について共に考えていきたいと思っております。ぜひご参加ください。

日時：令和4年5月27日（金） 午前10:00～正午

登壇者：馬場正尊氏 Open A 代表取締役／東北芸術工科大学教授

宮本一孝 門真市長

参加者：門真市駅周辺エリアの関係者の方々

門真市駅周辺エリアリノベーション社会実験に関わった方々

問合せ：門真市 まちづくり部 都市政策課 電話 06-6902-6391

なぜエリアは衰退するのでしょうか？

少子高齢化や施設・インフラの老朽化、自治体の財政難など日本全国で起こっており、それがエリア衰退の原因ではなく、「そのまちが必要とされているのかどうか」がエリアの価値を決める本質的な課題ではないでしょうか。

エリアリノベーションとは、本質的に求められるまちの役割を見出し、あらゆる人・企業が自ら関わることで、その需要やエリアへの期待値を上げて、中・長期的なまちの将来像を積み上げていく取り組みです。

そのためには、そのエリア独自の強みや個性を磨き、他のまちにはない門真ならではのエリアをつくることが重要になります。

衰退したまちにチャレンジや需要が生まれ、投資が生まれ、賃料や地価が向上し、長期的に需要が高まったエリアリノベーションの事例をレクチャーし、門真市駅周辺エリアの将来ビジョンについて、エリアの関係者とこれまで門真市駅周辺エリアリノベーション社会実験に関わった方々で議論します。

馬場 正尊氏 Open A 代表取締役／東北芸術工科大学教授

1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2003年OpenAを設立。建築設計、都市計画、執筆などを行い、同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。2015年より公共空間のマッチング事業『公共R不動産』立ち上げ。2017年より沼津市都市公園内の宿泊施設『INN THE PARK』を運営。近作は「Under Construction」(2016)「旧那古野小学校施設活用事業」(2019)など。近著に『民間主導・行政支援の公民連携の教科書』(学芸出版,2019,共著)、『テンポラリーアーキテクチャー:仮設建築と社会実験』(学芸出版,2020,共著)など。

